

# その「物語」、の物語。

“ペログリ”的複眼思考の味わい vol.156

## a taste of Ya'ssy

### 田中 康夫



たなかやすお ● 56年東京生まれ、作家。'00年より長野県知事を2期務める。'07年に参議院議員に当選。'09年に衆議院議員に当選、1期務める。小説「33年後のなんとなく、クリスタル」を11月25日に河出書房新社から上梓。【公式ブログ】<http://www.nippon-dream.com/>



## 日本の伝統とモダニズムが融合した、 慎み深い時空を満喫する料飲施設

### 今週の逸品



### ローストビーフセット 2160円

基本的には会員制なるも、ザ・ガーデンは一般来訪者も利用可能。改装後も泡沫経済の匂いを何処か漂わせる会員制のアメリカンクラブと異なり、矜持と脚韻を併せ持つディナーセントな雰囲気。ローストビーフはスープ・サラダ・パン・コーヒーも含めた価額。ロイヤルパークホテルが担当。図書室も閲覧室は一般利用可能。今や歌舞伎町化が進行中の六本木に於ける、古き良き時代を味わえる隠れたデートスポット。

【国際文化会館 ザ・ガーデン】東京都港区六本木5-11-16 ☎03-3470-4611  
営7:00~22:00 (LO21:30) 無休 禁煙 <http://www.i-house.or.jp/>

illustration by Hajime Anzai

その存在を初めて知ったのは、大学2年生の時分でした。4年生の先輩が在学中に結婚し、披露の宴を催した場所として、僕が在籍していた学園には珍しく、彼は些か垢抜けた雰囲気、少し長めの髪型。伴侶となった同い年の女性も、美麗で瘦癯でした。

地下鉄を降り、東京タワー方向へ向かい、二つ目の信号を右手に折れると、明治初期に創立されたプロテスタントの教会と女学校が両側に。その先の右手には「地主の名を冠した川崎コンパウンドなる在留外国人向け戸建て住宅が建ち並んでいました。緑の多い、静謐な一廓。

旧岩崎小彌太郎の跡地です。竣工は、僕が生まれる前年の昭和30年11月9日55年。敗戦後、ロックスフェラー財団を筆頭に内外の諸団体や篤志家が資金提供し、文化交流や知的協力を通じて日本と世界の人々の相互理解を深めるとの趣旨を掲げて誕生。ル・コルビュジエの薫陶と影響を受けた前川國男、坂倉倉三、吉村順三の3氏が共同設計した施設は、戦後モダニズム建築の代表作です。

会議員、宿泊用の空間に加えて、図書室と2つの食堂が設けられて、



います。20代半ばに会員となりました。僕は、排他的、閉鎖的サロンの空気とは対極な開明的な雰囲気が入り込んで、原稿執筆の場として繁く訪れたものです。

窓の外には芝生が拡がりますが、凡百の似非洋風庭園には非ず。鳥居坂の地形を巧みに活かした築山が特徴。昭和初期に、「植治」の屋号で知られる庭師を京都から呼び寄せて作庭された、近代日本庭園を代表する作品です。

而して日本の伝統とモダニズムの融合を目指した国際文化会館の建物は、今から9年前に大規模な再生保存工事を実施。既存の外観や枠組を残しながら修復を行い、現在に相応しき施設へと蘇生するレトロフィットと呼ばれる工法。

それを可能とした原質は、東京駅の赤煉瓦駅舎と同じく「空中権」の売却でした。隣接する「外人住宅」跡地への高層ビルの出現を認める代わりに歴史的建造物の存続を実現する。それは「市場」が作り出した制度を用いて、「市場」の温もりを保つ試みです。

「ザ・ガーデン」は、その時空を満喫し得る料飲施設。手頃な値段で定評のローストビーフを食せませ。無論、サンドウィッチを始めとする軽食も、排骨拉麺や丼物も愉しめます。週末、二人連れや家族連れで訪れるのを奨めます。麻布台のアメリカンクラブとは対極の慎み深い時空です。